

お元気ですか

家族会

NPO法人秋田けやき会
(秋田県秋田市)

今月の家族会訪問は、秋田市にあるNPO法人秋田けやき会(以下、けやき会)です。当会理事の阿部文博さんが、けやき会の会員というご縁から、取材が決まりました。

東北地方はまだ暑くないかなと期待していましたが、伺った7月初旬は、秋田でも30℃近くまで気温の上があった日があったとか。この日も、雨の降りそう

な、湿気の多い1日でした。

作業所づくりからスタート

けやき会の成り立ちは、作業所づくりの端を発します。昭和58年に、県内初の「希望荘」という作業所を、個人所有住宅を借用して開設し、併せて家族会が発足しました。まさに、家族会の歴史として語られる、活動の一つからはじまっています。

その後、他の家族会との合併等により名称が改名されるなどし、現在に至っています。

障害者自立支援法の影響で

けやき会では、現在2つの施設を運営しています。これまで、共同作業所として運営してきましたが、平成18年の障害者自立支援法施行により、行政から法人を取得するよう指導され、全国の例に漏れず、NPO法人格を取得し、法定施設である地域活動支援センターⅢ型にしました。運営主体はけやき会ですが、家族は業務をおこなわず、職員を配置しています。

司会は当番制。やってみないとわからない

例会の場所は、秋田市保健所です。ドアを開けると、賑やかな声が聞こえてきます。「みんなねっとの取材で来ました」と

入って行くと、その場にいた皆さんが「わー！」っと、笑顔で迎えてくれました。緊張のほぐれる瞬間です。

会員数は61名ですが、本日は21名(男性4名、女性17名)の参加がありました。例会は、これまで理事長が司会を担ってきま



定例会のようす

したが、6月より当番制でおこなっています。「当番制にしたのは、みんなにいろいろなことを経験してもらいたいからです」。そう話すのは、理事長の堀井三男さんです。提案したときは賛否両論だったそうですが、『やってみないとわからない』という前向きな気持ちもあって、6月から当番制になりました」と、会員の方から伺いました。

午前は学習「心配せんでいい」

司会の進行で、最初は行事報告からはじまります。2か月に1回開催する家族学習会については、「本人がメタボなので、栄養士の話を聞きたい」、「同じテ

ーマでも、繰り返し聞かないと頭に入らない」など、あちこちから積極的に意見が出されます。

次に、障害年金の更新に向けた、診断書の書き方について勉強しました。「今は親がいるから手続きができるけど、親なきあとは本人一人ではできない」という悩みには、「保健所に聞いたらいいべ」、「ヘルパーさんや看護師さんがいるから一人で、心配せんでいいべさ」と、テンポよく秋田弁で発言が飛び交います。

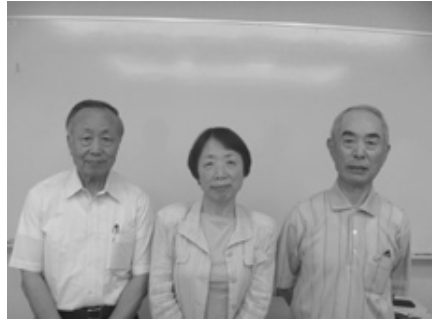
また、一人暮らしをさせる提案もありました。「親がいると、いつまでもいると思って甘えている。親がいる間に一人生活をさせてみて、ダメだったら、ま



「戻ってもいいのでは」、「実家の近くで部屋を探すといい」、「最初はいろいろな料理を作ってみよう」という話だったが、今は構わないようにしている。『いざというときはヘルパーさんや訪問看護を頼みなよ』と家族会などで得た情報をアドバイスするくらい」と、実際に本人が一人暮らしをしている家族の体験には、全員関心高く、話を聞いていました。

午後は二次会「語り合い」

「例会は一応午前中で終わりますが、その後お昼を食べながら二次会をやるんです」。堀井さんにいわれて周囲を見ると、



左から当会理事の阿部さん、司会を務めた近野さん、けやき会理事長の堀井さん

半分くらいの方がそれぞれお弁当を広げて語り合いがはじまります。午前中から例会をおこなうのは、会員に主婦が多いので、帰りが遅くならないためだそうです。しかし、家族会のよさである語り合いは外せません。堀井さんは「肩肘張らずに、ゆっくり話ができるように進めていきたい」と話されました。

家族相談は元気の源

けやき会は、月に1回（第3金曜日）家族相談を実施しています。平成5年から始めていますので、約20年が経ちます。当初は広報もせず、口コミによるものだったそうですが、現在は行政の広報や、新聞をとおしてお知らせし、利用者も増えていそうです。

相談員は、けやき会の会員が担います。後継は、現役の相談員が声をかけ、バトンタッチしていきます。現在は、3名が相談員を担っています。「相談は相談する側も相談を受ける側にとっても、元気の源になってい



ますね」と話されました。

そして、家族相談から入会につながる方もいて、会員を増やす役割も担っています。

「入会のきっかけにはなりませんが、必ずしも会員にはつながるわけでもありません。でも、それでいいと思っています」

時間はかかっても、地道な活動が実を結ぶのだと思います。

気分転換が秋田美人の秘訣？

また、家族会の高齢化といわれてはいますが、けやき会の皆さんは、若い方ばかりです。もちろん、実年齢は他の家族会と大幅に変わるとは思いませんが。この若さの秘訣は何でしょ

うか。

「例会は気分転換。そのために来ています。やっぱり来るときは、多少身なりに気をつかって来ていますよ」。そう話すのは、男性の会員さんです。例会が日常生活にもいい刺激になっているのでしょうか。そして、心身とも若くなり、より秋田美男美女が引き立つのかもしれない。

明るく、朗らか、 和やかに

そして印象的だったのは、けやき会全体が明るく、優しい空気に包まれていることです。本人の金銭管理で悩んでいる方が「銀行からお金を引き出すこと

は上手にできるんですけどね」

と、冗談交じりでいうと、どつと笑い声が。そして「一週間ずつ手渡ししている人もいるよ」と工夫も話されます。また、「例会に来れる人はいいけど、来れない人や家族会を知らない人のほうがもつと多いから、そういう人を救ってあげたい」。同じ立場の家族を想う気持ち伝わりました。

月1回の例会が、皆さんにとって楽しみであり、気持ちの晴れる時間だということが、この日1日でよく伝わってきました。

「やっぱり、家族会っていいな」
そう思える訪問でした。

(取材／高村)